

第1回 航空機の脱炭素化に向けた新技術官民協議会資料

環境に資する新技術に関する取り組み・課題

令和4年6月20日

一般社団法人 日本航空宇宙工業会

1. SJACの新技術における取組

(1) 国内航空機開発及び航空機システム開発に関する動向調査等 (H25～H27年度 NEDO調査事業/H28～R2年度 関東経済産業局 地域中核企業創出・支援事業)

我が国の航空機システム(装備品)の競争力強化に関する調査を行い、その対応策として5種類の実証試験インフラ(環境試験装置)を選定し、長野県飯田市(エスバード)が地方創生推進交付金を活用しR2年度に導入を完了

①着氷試験装置 (H28年度)

地上から上空までの気圧、気温、湿度を再現



②防爆性試験評価装置 (H29年度)

装備品の動作・発熱により周囲の揮発性ガスに引火しないこと(防爆性)を評価



③燃焼・耐火性試験装置 (H30年度)

延焼速度、発熱性、発煙性等の試験装置



④高速温度変化試験機 (R1年度)

地上から上空までの急激な温度変化を再現



⑤高周波振動試験装置(温度複合仕様) (R2年度)

温度環境と振動環境を装備品に付与



1. SJACの新技術における取組（続き）

(2) 航空機装備品、電動化分野における研究開発動向調査（R2年度 NEDO調査事業）
各項目に関連する有識者・事業者等と連携した調査、有識者委員会による専門的見地からの意見を聴取し報告書を纏めた。

<報告書の主な項目>

- ✓ 航空産業の現状と動向
- ✓ 我が国が目指すべき航空機産業の方向・戦略
- ✓ 我が国の航空機に関する技術開発
- ✓ 我が国の航空機システムに関する技術開発
- ✓ 我が国の航空機電動化に関する技術開発
- ✓ 航空機産業と他産業との相互波及や連携
- ✓ 新技術の実用化に伴うサプライチェーンや産業構造の変化

2020年度成果報告書

航空機装備品、電動化分野における研究開発動向調査

2021年 3月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

委託先 一般社団法人 日本航空宇宙工業会

2. 想定される課題

- 新技術の技術実証における試験設備の洗い出し、計画的な確保
- 同業他社やOEM等と連携し、新技術の国際標準化を推進する機運の醸成、体制の整備